

委員会視察成果報告書

2023年10月16日

犬山市議会議長

議員名 岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2023年10月3日(火)～2023年10月4日(水) (1泊2日)
(2) 視察地	静岡県熱海市
(3) 視察の種類	①・特別委員会(建設経済委員会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	<p>熱海市の人口は、34,973人。高齢化率は48.7%(2020年)と非常に高い。江戸時代から温泉地として有名。現在も別荘等の所有者は9,000世帯。</p> <p>①観光客(宿泊客)がV字回復するに至った主な取り組みについて 2000年ころから宿泊客が減少し、2011年最低(230万人/年)となった。 熱海市と熱海商工会議所の連携で「A-biz(熱海市ホテルインフォメーションセンター)として、個店支援事業を実施。相談件数45件(H24年度)1096件(H30年度)2022年10月から体制を一新し、A-supply。2012年から「ADイン・イン・レイ」でAD制作部を支援、口説誘致を推進。2017年から別荘コンシェルジュ。このような取り組みを重ね、V字回復した。</p> <p>②新熱海駅・駅ビル開発は、2016年実施。近代的な施設。</p> <p>③財源の確保として、観光目的税(宿泊税)の導入検討。観光政策を進める体制として、DMO(評議員会、理事会)を設置。</p> <p>④課題としては、建設業などの後継者不足、タクシー会社などの人手不足、人口少なく、年間産まれる子どもは100人以下、夜9時ごろにまちが静かになること。</p>
(5) 犬山市に対する提言	<p>1. 様々なデータ分析がなされていた。静岡大学などの連携(委託)により、とらえて、犬山市の観光分析など、近隣の大学と連携して行いなどを検討。</p> <p>2. 本物の文化を活用した観光、宿泊の強化を進めたいところなので、専門人材に相談できる体制をつくる。</p> <p>3. A-bizやA-supplyを参考に、協力関係が「これぞ、起業家への支援事業を検討する。</p>



委員会視察成果報告書

2023年10月16日

犬山市議会議長

議員名 岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2023年10月3日(火)～2023年10月4日(水) (泊2日)
(2) 視察地	東京都隅田川
(3) 視察の種類	①・特別委員会(建設経済委員会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	<p>1. 隅田川テラス事業について</p> <p>① 隅田川は、北区にある岩淵水内では荒川から分派し、中央区の築地付近までを流れ、流路延長23.5kmの一級河川で東京都が管理。昔から台風で水害が発生。1963年～1975年、東京高潮対策事業を実施。直立の高い防潮堤の整備により、人の暮らしと川が分断されたことから、親水性と耐震性向上のため、背後の開発等に合わせ緩い傾斜の堤防を整備したのが、スーパー堤防等整備事業(1985年～)</p> <p>② 「水辺の魅力を活かした東京の顔づくり」主な取組</p> <p>1) 水辺の動線強化: テラス不連続の解消、テラスへの河川照明の設置</p> <p>2) 両国リバーセンター: 公共用地の定期借地による官民連携事業</p> <p>3) 東京ミスマフ・おみたリバーウォーク: 護岸の耐震補強に合わせ、テラスを整備</p> <p>4) 隅田川サホーター: 隅田川に関心があり、活動した人の集まり</p> <p>実際に両国リバーセンターから水辺ラインに乗船したり、おみたリバーウォークを歩き、水辺の利活用について学ぶことができた。</p>
(5) 犬山市に 対する提言	<p>1. 「居心地が良く、歩きやすい水辺空間の創出」のイメージなど、木曾川の川沿いで展開してきたものを検討する。(広い歩道、夜の照明、子どもが遊べる場の併設など)</p> <p>2. 隅田川サホーターを参考に、木曾川サホーター制度を作り、情報発信をしてもらうと共に交流川やイベントを企画していく。</p>